

大阪市立大学 全学FD事業
第21回教育改革シンポジウム

日本型4学期(Quarter)制について

日時

2014年9月10日(水) 15:00~17:00

場所

大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター10階会議室

昨年のシンポジウムでは、学士課程段階の全学共通教育の課題や方向性について検討しました。今年度の教育改革シンポジウムでは、初年次教育やグローバル人材育成等の教育の効果的な推進を検討するためにも参考となる、近年日本の大学での導入が進んでいる日本型の4学期制について考えることとしたいと思います。

講師としては、早稲田大学の田中先生をお招きして、早稲田大学の事例をご紹介いただくこととしました。早稲田大学では、数年間の検討を経て、2013年度から4学期制を大々的に導入しております。その導入の背景と目的や、実際の様子などを伺えればと思っております。皆様には、ご多忙中かと存じますが、是非よろしくご参集いただければと存じます。

講演 「早稲田大学における4学期制(Quarter制)導入の背景と目的」

田中 愛治 早稲田大学理事(教務部門総括)・
政治経済学術院教授

コメンテーター： 桐山 孝信 大阪市立大学理事(教育・学生担当)・副学長

司 会： 大久保 敦・飯吉 弘子(大学教育研究センター)

主催：大阪市立大学 大学教育研究センター

共催：全学共通教育教務委員会

E-mail: center@rdhe.osaka-cu.ac.jp

Fax : 06-6605-2137

※当日参加も歓迎いたしますが、会場や資料準備の都合上、9月5日(金)までに、大阪市立大学 大学教育研究センター (center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)宛に、ご所属とお名前・ご連絡先をご連絡いただけると助かります。